

暮らしを支えるみなとの情報誌
Vol.90 September 2013

港湾

9月号

特別寄稿
エネルギー輸入と
港湾インフラの果たすべき役割
坂梨義彦

特別寄稿
日本のエネルギーは港から

特別寄稿
エネルギー輸入と
港湾インフラの果たすべき役割
坂梨義彦



公益財団法人日本港湾協会
The Ports and Harbours Association of Japan

新連載

みなとで働く女性たち 1

海上コンテナトレーラー ドライバー

東海菱中運輸株式会社
永田由美さん

取材日：平成25年8月20日（火）
聞き手：国土交通省中部地方整備局港湾物流企画室

Q1 なぜこの仕事を選びましたか。

この仕事を初めて13年目になります
が、10代の頃にトレーラーの助手席に
乗せてもらって、そのトラックの大き
さに感動したのがきっかけです。特に、
海上コンテナのドライバーは、荷物の
積み下ろしがなく、女性でも活躍でき
る仕事だと聞いて、選びました。

Q2 この仕事をしていて困ったと思うことは。

困ったことはお手洗いです。港で働
く人達のほとんどが男性なので、女性
用トイレは少ないです。トイレに行き
たくなくてもゲート前の渋滞の列に並
んでしまうとその列から外れるわけに
もいかないので特に困っていました。

「みなと」という職場において、多くの女性が活躍されています。
「みなと」で働く女性たちを応援していくため、彼女たちが日々奮闘している姿を
インタビュー形式で紹介していきたいと思います。
職場としての「みなと」が、これからどうあるべきかについて考える
ひとつのきっかけになればと思います。

最近では、名古屋港は集中管理ゲ
ートが出来、最初は何で遠回りをさせら
れるんだらうと思っていましたが、ゲ
ート前で渋滞することが解消され助か
っています。

ここ数年で各ターミナルの女性用ト
イレも普及してきましたが、もう少し
環境が整ったらと思います。

また、例えば車を整備する時は、男
性と比べて作業する力や、車の基本的
な知識で悔しい思いをしたこともあり
ました。

ほとんどの女性ドライバーは子ども
を抱えて仕事をしています。急に子ど
もが熱を出した時などは、パートで働
くのと比べすごくジレンマがあり、心
配しながら働くところは人並み以上の
苦労や努力をしていると思います。

Q3 この仕事をやっていて良かったと思うことは。

狭い駐車スペースにトレーラーを停
めた時などに、「女性なのにすごいな



ー」と言ってもらえた時や、仲間に助
けてもらった時は嬉しいです。仲間が
いてこそだと思います。

Q4 港で働くことを目指している女性に向けて
メッセージをお願いします。

港には海上コンテナドライバーの他
にもガントリークレーンの乗り手だっ
たり、女性が活躍できる職場がある
と思うので、どんどん進出していつほ
しいと思います。

ここ数年で、名古屋港のターミナル
は効率化が進んでいる実感があります。
機械化により、力を使わない部分も増
えてくれば今後女性がより働きやす
くなると思います。